

組織で保証する医療の質 QMSアプローチ

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

2018年3月3日(土) 10:00~17:50

於: 早稲田大学西早稲田キャンパス63号館2階03, 04, 05会議室

QMS-H研究会代表: 飯塚悦功(東京大学), 副代表: 棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療の質・安全への関心の高まりのなかで、有力な方法の一つと期待されているのが、「QMSアプローチ」です。いかなる分野でも、良質の製品・サービスの提供のためには、当該分野に固有の技術・知識(固有技術)と、それらの技術・知識を組織的に活用するための方法論(マネジメント技術)が必要です。「QMSアプローチ」とは、この考え方にに基づき、医療の質・安全に必要な知識・技術・技能の開発・可視化・構造化・標準化とともに、これらの技術を組織的に活用していくための基礎となる、マネジメントの基本概念の理解、マネジメントシステムの確立・改善、人材育成、組織文化・価値観の確立などに焦点を当てる、組織的な改善・改革の方法論です。

QMS-H研究会は、大学の工学系研究者と病院との共同研究により、「QMSアプローチ」による医療の質・安全の向上をめざしてきました。QMSは、代表的なマネジメント技術であり、質のよい製品・サービスを組織的に提供し、さらに改善を行うための仕組み、仕事のやり方です。これには、仕事のやり方を決めた業務手順書や、実際に仕事をする人、仕事で使う設備やものなど、いろいろな経営資源が関わってきます。QMS-H研究会では、医療にふさわしいQMSの形態はどのようなものであるのか、それを病院に導入・推進するにはどのようなやり方をすればいいのか、10年間にわたり先駆的な研究を続けてきました。

本年度は、多くの病院で共通課題である文書管理、業務システムの見直し(QMS診断)、質・安全教育を取り上げ、共同研究グループを設け、研究を進めてきました。また、新たな取り組みとして、病院の参加者が主体となって進める「情報交換会」を行いました。今年度は、ISO9001:2015年版をテーマとして取り上げました。さらに、10年目の節目のシンポジウムであり、さらなる発展を目指すために、「医療におけるQMSの次なるステップに向けて」をテーマに特別講演、パネルディスカッションを行います。

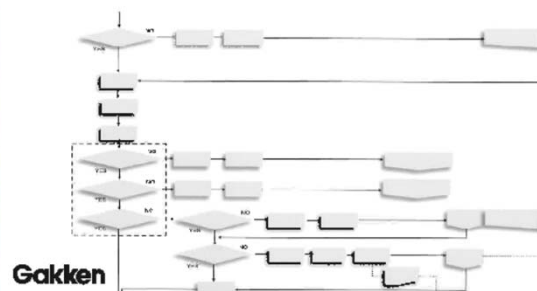
医療の質・安全の向上に取り組んでいらっしゃる多くの方々の参加を歓迎いたします。

なお、昨年度まで共催で行ってきたPCAPS(Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス)研究会は、日本臨床知識学会に改組され、成果報告は2018年1月27日(土)に開催される学術集会の中で行われることになりました。詳細は、<http://www.jaclik.umin.jp/syukai/index.html>を参照ください。

Organizational Quality Assurance of
Healthcare Quality - QMS Approach

組織で保証する 医療の質 QMSアプローチ

編者: 飯塚 悦功・棟近 雅彦・水流 聡子
編集: QMS-H研究会出版委員会

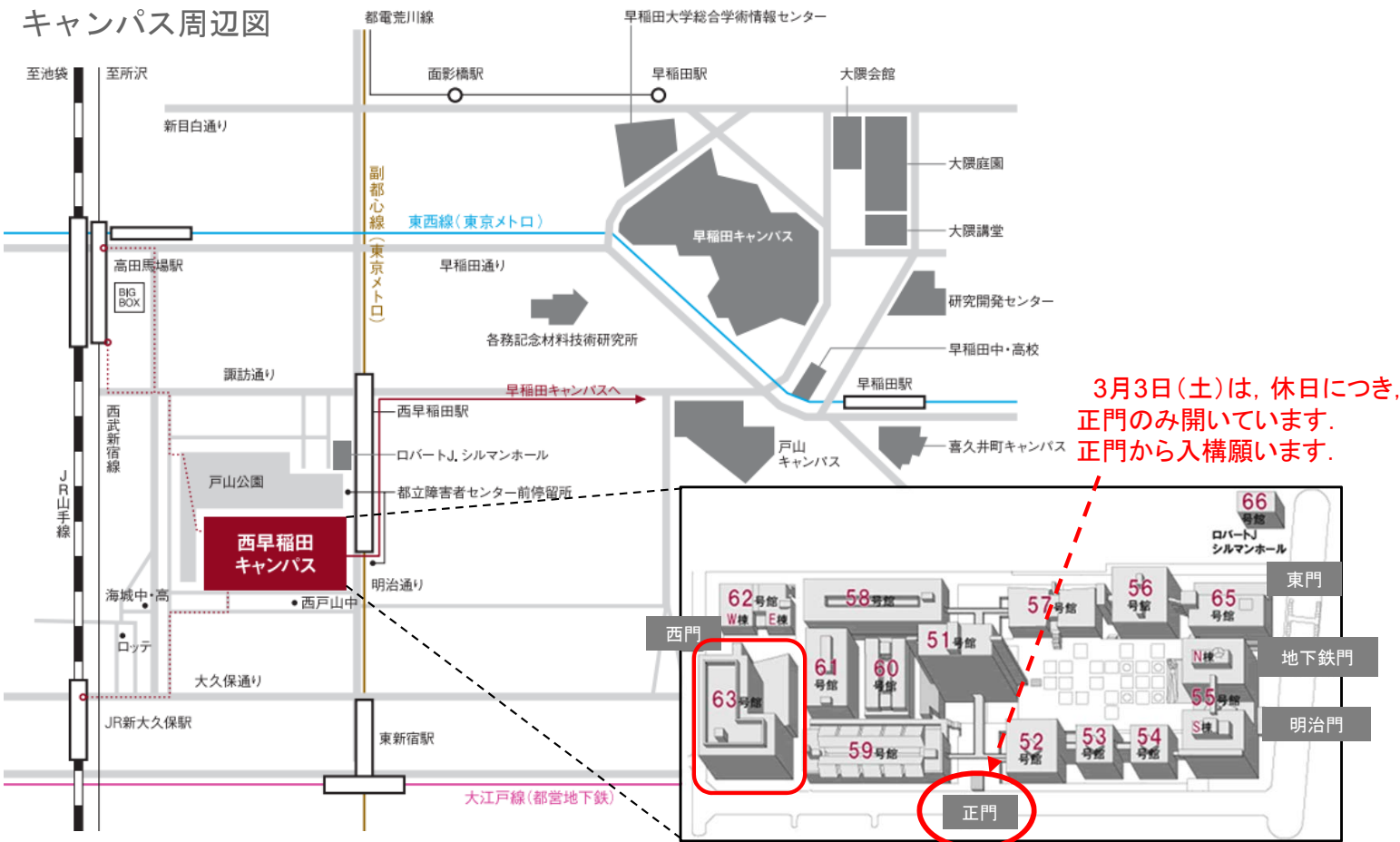


■ 2018年3月3日(土) 10:00-17:50

- I. 本研究会のねらい, 意義, 展望
- II. 共同研究グループの成果発表
 - ・文書管理グループ
 - ・業務の見直し(医療QMS診断)グループ
 - ・質安全教育グループ
- III. 各病院の重点課題に対する取り組み
 - ・2017年度重点課題に対する取り組み結果の報告
- IV. ポスターセッション, フリーディスカッション
 - ・個別研究テーマの発表
 - ・各病院の取り組み及び個別研究テーマに関するフリーディスカッション
- V. ISO9001:2015年版への移行に対する各病院の取り組み
 - ・ISO9001:2015年版への移行対応に関する情報交換会の成果報告
- VI. 「医療におけるQMSの次なるステップに向けて」
 - ・特別講演「QMS-H推進の次なるステップ～日常管理体制の確立と組織的改善の展開～」
東京大学名誉教授 飯塚悦功
 - ・大学研究者と病院のQMS導入・推進者によるパネルディスカッション
- VII. 今年度のまとめと来年度以降の計画

(申込方法: 裏面をご覧ください。)

キャンパス周辺図



3月3日(土)は、休日につき、
正門のみ開いています。
正門から入構願います。

【電車】

西早稲田駅(地下鉄副都心線)
3番出口から正門まで徒歩2分
高田馬場駅(JR線, 西武新宿線, 地下鉄東西線)
徒歩15分

【バス】都バス

新宿駅西口ー早稲田, 早大理工前バス停
高田馬場駅ー九段下, 早大理工前バス停

■参加費・参加申し込み:

参加費は無料です。ただし、資料準備のため、2月23日(金)までに参加申し込みをしてください。

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX)を下記参加申込書にご記入の上, シンポジウム事務局まで E-mailまたはFAXでお申し込みください。

シンポジウム事務局 E-mail: qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp
TEL: 03-5286-3304 FAX: 03-3232-9780

QMS-H研究の詳細は, <http://qms-h.org/index.html> をご参照ください。

【参加申込書】

ふりがな 氏名	ご所属/ 職種	E-mailアドレス	TEL/ FAX